

ADP-K01

(各種携帯端末対応)

ケ-タイア-ン

完成図書

(V1. 2)

2016年3月

株式会社プロスパー電子

〒246-0015 横浜市瀬谷区本郷 1-46-15

TEL: 045-303-4352 FAX: 045-303-5991

E-mail: info@prosper-e.co.jp

URL: <http://www.prosper-e.co.jp>

目次

1. 概要	2
2. 仕様	2
3. 各部説明	3
3. 系統図	U16-T6234S02
4. 外観図	H15-T6234G01

※この図書の内容は 2016 年 3 月末より出荷のV2バージョンに適用します。

1 . 概 要

本機器は、各種携帯端末に接続して入出力を平衡アナログ音声 (0dBm) で取り出すアダプターです。中継現場や中継車内で連絡回線、送り返し回線に携帯電話を取り込む場合に使用します。電源は汎用XLR4ピンとUSBモバイルバッテリー、それに単三アルカリ電池 (有償オプションのボックス使用※2) の3ウェイで、接続された端末にも常時、充電されます。(単三アルカリ電池使用時は不可) ハンディサイズで軽量ですので、マイク入力 (SM63想定) にて、テレフォンレポーター的な運用もできます。

対応端末: FOMA携帯電話、Andorid携帯、au 新ガラケーおよびガラホ、iPhone4~6 (アップル社の認証無し)

※1 該当携帯のすべての機種 of 接続を保証するものではありません。運用前に実機での確認をお願いします。

※2 au 新ガラケーおよびガラホでは単三アルカリ電池での運用は出来ません。

2 . 仕 様

[1] 音声入出力系統

- | | |
|--------------|--|
| —1 4W音声入力 | 1系統 携帯 TALK 側
LINE入力 (XLR3ピンコネクター)
基準レベル 0dBm 平衡 (600Ω) ※工場出荷時設定で+4dBm 可
マイク時 -60dBm 平衡 (約 2KΩ) |
| —2 4W音声出力 | 1系統 携帯 RECEIVE 側
LINE出力 (XLR3ピンコネクター)
基準レベル 0dBu 平衡 (600Ω 負荷に適合する)
※工場出荷時設定で+4dBm 可 |
| —3 モニター出力 | 1系統 携帯 RECEIVE 側
イヤホンモニター用 (3.5φミニジャック) |
| —4 携帯端末専用入出力 | 2系統 専用ケーブルで各種端末に対応
※1系統は送返し音声受話専用で各系統常時ミックス
内部スイッチ設定でモニター出力は「送返のみ」が可能 |

[2] 周波数特性

100Hz~7kHz (本機単体・高品位通信網)
300Hz~3.5kHz (携帯電話回線含む全体)

[3] 電源入力

XLRコネクター 4ピン (オス: 1ピン=GND、4ピン=+V)
DC12V~17V
約 8W (12V) 携帯端末充電時
マイクロUSBコネクター (5V)

[4] 動作温度

0~40°C (但し結露がないこと)

[5] 外形寸法

82(W)×37(H)×86(D)
※コネクター、スイッチ等の突起部は除く

[6] 重量

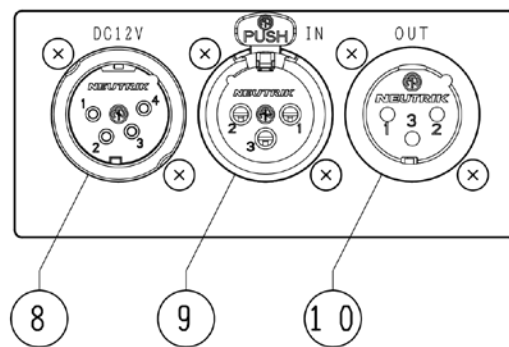
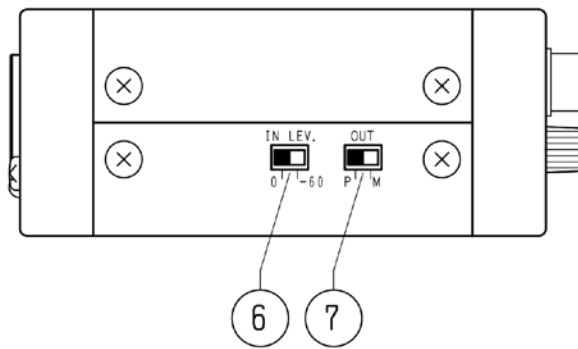
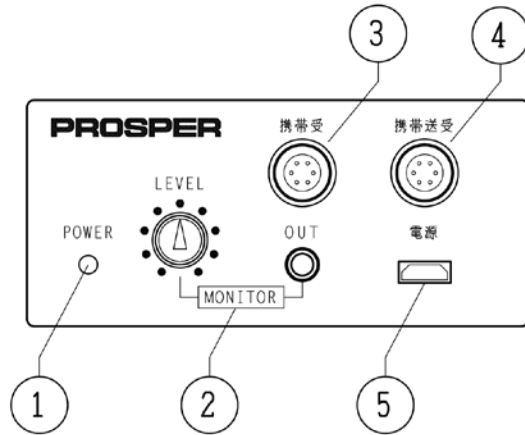
約 200g ※ケーブルは除く

[7] 付属品

携帯端末接続用専用ケーブル 1本
※出荷時に端末種をご指定ください。

※電源は別にご用意ください。

ADP-K01
 ケータイアンプ 説明図



ケータイアンプ 各部説明

①パワーインディケーター

電源が投入されるとグリーンに点灯します。

②モニター出力ジャック、モニター出力レベル

本機に接続される2台の端末の受話音声が入力されて聴けます。

(バランスは端末の音量でとってください)

モニター出力系統スイッチの設定により、モニター出力から聴ける音声を③の受話専用の端末に限る事が出来ます。

3.5φのミニジャック用です。スリーブは使いません。チップ(L側)のみ有効です。
インピーダンス8Ωのイヤホンには対応しません。

③携帯端末(受話専用)接続コネクタ

専用のケーブルで携帯端末と接続します。

こちら側に接続する端末は受話専用で送話と充電はできません。

主に「送返し(N-1)」の受信に使う事を想定しています。

④携帯端末(送受話用)接続コネクタ

専用のケーブルで携帯端末と接続します。

送受と充電ができます。

主に「連絡系統」に使う事を想定しています。

⑤電源入力用マイクロ USB コネクタ

+5Vでの電源供給に使用します。

市販のモバイルバッテリーの使用を想定しています。

モバイルバッテリー充電用のACアダプターも使用できるものがあります。

(運用前に実機で動作の確認をお願いします)

⑥入力レベルスイッチ

ライン入力のレベル切り替えです。

ライン=0dBm(600Ω)とマイク=-60dBm(約2KΩ)を切り替えます。

マイクレベルはシュア社SM63型マイクロフォンの使用を想定しています。

⑦モニター出力系統スイッチ

モニター出力で聴く音声を切り替えます。

P:③の「携帯受」コネクタに接続された携帯端末の音声のみ

M:③と④に接続される2台の携帯端末の受話がミックスされて聴けます。

P側は現場のレポーターに「送返し」のみ聴かせる場合などを想定しています。

⑧電源入力用 XLR コネクタ

+12V~+17Vでの電源供給に使用します。

1ピン:GND 4ピン:+12V

⑨ライン入力コネクタ

ライン入力(4W)0dBmかマイク入力-60dBmで入力します。

切り替えは筐体側面の⑥スイッチで行います。

⑩ライン出力コネクタ

ライン出力(4W)0dBmで出力します。※スマホ接続時はスマホ側受話音量がほぼ最大で基準になります。

出力系統は⑦のスイッチで切り換えられます。

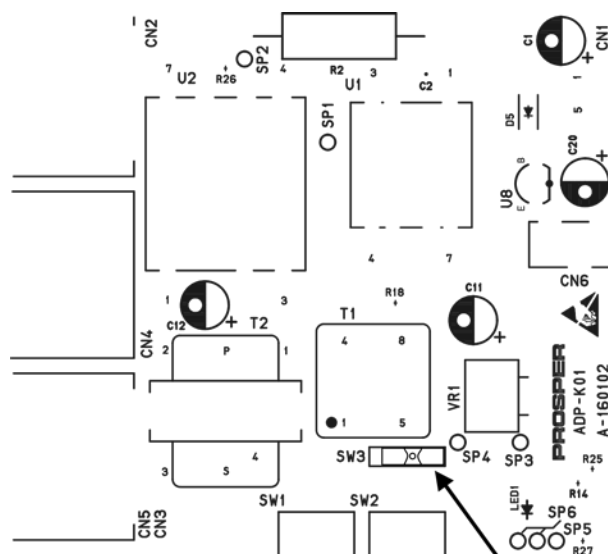
出力レベルは携帯端末本体側の受話レベルで可変できます。

※機種により異なります。

内部スイッチの切り替えについて

本体内部の「内部スイッチ」を切り替える事で、⑩のライン出力を携帯端末の受話音声から⑨のライン入力音声に切り替える事ができます。
⑥の入力レベルをマイクにすれば簡易的なHAとしても使えます。

ボディの上蓋を側面の4個の黒皿ネジをはずし、上蓋をとりはずします。
基板は下記のようにになっており、「SW3」と白文字で示された赤いフラットレバーのスイッチが、「内部スイッチ」です。



☆この図の状態が「ライン入カ→ライン出力」です。
工場出荷時は逆側になっています。

ご注意！

本機は対応形式のすべての機種で動作確認を行っているわけではございませんので、必ず運用前には実機で動作の確認をお願いします。

特に iPhone に関しては、アップル社の認証を受けておりませんので、事前に各型、それぞれ個別に、動作の確認を行ってから運用していただくようにお願いします。

本機には電源スイッチがございません。電源が接続されますと即、通電状態となります。

充電可能な条件の携帯端末が接続されますと、即、充電開始になります。
充電のみ停止させる事はできません。(満充電になると端末側でカットされます)